

江戸川学園取手高等学校 えどとりAED同好会

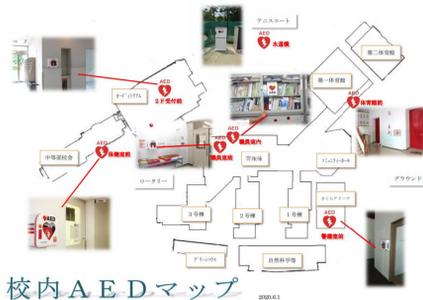
「茨城県の救命率向上を目指して」

活動概要

江戸川学園取手高等学校AED同好会は、
①AEDマップの作成
②立川医師による学習会
③動画作成
④外部の講習会への参加 を主な活動として行っている。

具体的活動

①校内AEDの設置場所と設置台数の妥当性の評価とAEDマップ作成
→校内のAEDまでの所要時間に着目し、AEDが倒れた場所から往復2分以内のところにあるのか、実際に自分たちで走って計測し、「校内AEDマップ」を作成した。



校内AEDマップ

- ②学校周辺から取手駅周辺のAEDを「AED N@VI (<https://aed-navi.jp/>)」に登録し住みやすい地域づくりに貢献した。
- ③心肺蘇生法の学習を通して、いざというときに対応できるように救命の練習をしている。
- ④小学生のための救命講習動画作成
→新型コロナウイルスの流行により、小学生に対して救命講習を直接行うことが難しくなったため、小学生のための救命講習の動画を作成した。
「AEDとは？」「AEDが校内のどこにあるのか」「人が倒れていたらどうするのか」などを楽しく学ぶことができる教材動画を作成した。
- ⑤ラヂオつくばに出演し、活動内容や今後の目標の紹介を行った

校内救命講習会



部活動の様子



校内AEDマップ作成



ラヂオつくばの様子

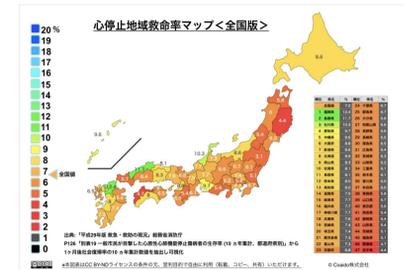


「『いざという時』に迅速に対応」

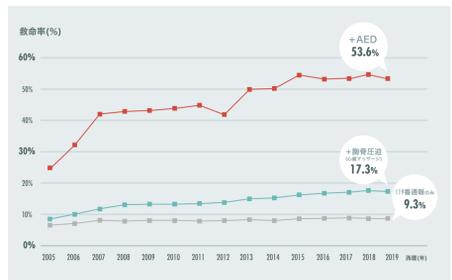
活動の目的・志など

目的：茨城県の救命率を向上させる

理由：茨城県の救命率は、5.1%で、全国平均の救命率7.2%や、救命率1位の福岡県の救命率12.4%より、はるかに茨城県の救命率が低いから。



AEDを使うと救命率が格段に上がるため、AEDを使用して救命率をもっと上げたいと思ったから。



「コロナ禍でも、動画で救命講習会！」

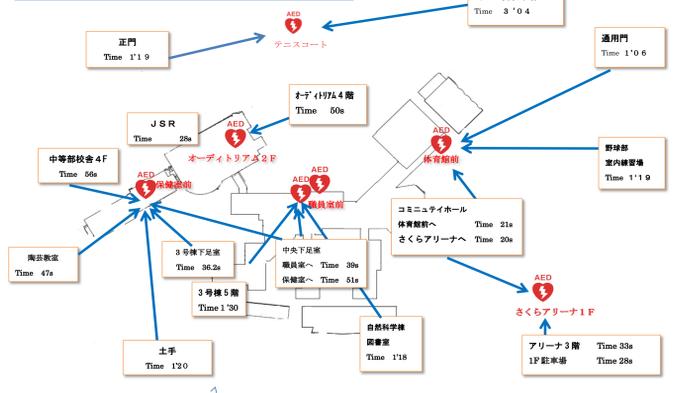
活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

①校内AEDの設置場所と設置台数の妥当性の評価とAEDマップ作成

・校内のAEDまでの所要時間に着目
時間に着目する理由
→AEDによる電気ショックが1分遅れることで、救命率が10%低下する
→心肺停止後5分以内の電気ショックが目標
→倒れたところからAEDまで往復2分以内のところにAEDが無くてはいけない
→実際に往復2分以内のところにあるのか、自分たちで走って計測し、「校内AEDマップ」を作成した
計測の結果
→テニスコートのみが2分を超えてしまったため、テニスコートにAEDを追加で設置した



AEDまで何秒? (往復所要時間)



②学校周辺から取手駅周辺のAEDを「AED N@VI」に登録し住みやすい地域づくりに貢献

AED N@VI (<https://aed-navi.jp/>) とは
→突然に心停止となった方に対してAEDが使われる機会を増やし、救命率を向上させることを目指して、正確で新しいAED設置情報を広く共有するためのAEDマップ
→登録されたAEDを地図上に表示し、近くにあるAEDがすぐわかるシステム
→これに登録することで、AEDをたくさんの方が利用しやすくなるため、地域の救命率向上につながるということを考えている。

③心肺蘇生法の学習

→特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会茨城県代表の立川医師のご指導を受けている
→講習会に参加し、資格を取得
→心肺蘇生法を人に教えられるように日々活動している

④小学生のための救命講習動画作成

→新型コロナウイルスの流行により、小学生に対して救命講習を直接行うことが難しくなった
→「AEDとは?」「AEDが校内のどこにあるのか」「人が倒れていたらどうするのか」などを楽しく学ぶことができる教材動画を作成
→小学生の興味を引くため、「えどレンジャー」を登場させた(添付画像)



「地域医療に貢献!!!」

今後の展望・夢など

〇地域医療に貢献したい

そのためには、
☆いつでも、どこでも、だれでも救命処置ができるようにしたい
☆救命処置を普通のもの、当たり前のものになりたい

①全校生徒が救命処置ができるようにしたい

→生徒への救命講習を続ける

②地域の方々に、倒れている人に声をかける・救命処置をするなどの、勇気を持ってほしい

→救命処置が、「難しく特別なもの」ではないことを知って、興味を持ってもらう
→地域住民に向けた救命講習を行い、地域のイベントに積極的に参加する

③動画を通じて、救命処置の存在の大切さを知ってほしい

→色々な世代に向けた動画を作成し続ける
→部員も年に1回救命講習に参加し、自分が持っている知識を復習し、新しい情報を更新する

④近くのAEDの場所を知って欲しい

→AEDマップの作成を続ける

この4つを続けて、いつでも、どこでも、だれでも、救命処置ができるようにして、救命処置が特別なものではなく、当たり前のものになってほしい。
そうすることで、地域の医療にも貢献できて、ゆくゆくは取手市茨城県の医療にも貢献したい!

集合写真



活動団体プロフィール

学校名：江戸川学園取手高等学校
団体名：えどとりAED同好会
活動日：不定期
活動人数：8人
活動年数：2年
活動タイトル：救命講習
活動内容：AEDマップの作成
立川医師による救命講習会
動画作成
外部の講習会への参加